

ナバリスト 15

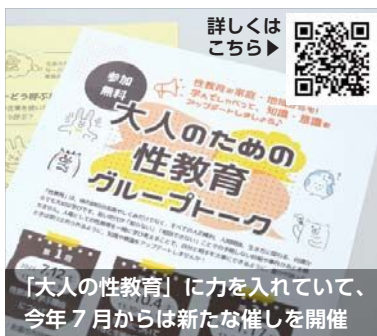
▶男女共同参画センター
Instagram

柴 吟子 さん | 男女共同参画センター職員

しば・うたこ ●「男女共同参画つうしん」の作成や SNS の運用など、男女共同参画センターの業務を一手に担う。得意のイラストを生かして始めた 3 コマ漫画「モヤモヤ委員会」は、今年 4 月、第 8 回までを総集編にまとめた。「性別に関係なくみんなが生きやすい世の中に」と日々奮闘中。



分かりやすく、読みたくなる「男女共同参画つうしん」を目指している



「大人の性教育」に力を入れていて、今年 7 月からは新たな催しを開催



職場や家庭など、暮らしの中で感じるモヤモヤを漫画に

#わたしたちのジェンダー
プロジェクトフレンデーズ
柴さんの漫画も公開されています
QRコード

暮らしの中で感じるモヤモヤをみんなで考えたい

親戚の集まりで「いつ結婚するんだ」と言われたり、制服のデザインが男女で明確に分かれていたり……。暮らしの中で『モヤモヤ』すること、ありませんか？ 男女共同参画センターが発行する「男女共同参画つうしん」には、私たちが普段感じているモヤモヤを 3 コマ漫画にして掲載。「私もモヤモヤしてたー」「疑問に思いながら育ってきた」など、共感の声をいただいています。

「男女共同参画つうしん」では、様々な業界で活躍している女性を「きらきらウーマン」として紹介。彼女たちの思いや魅力を伝えることで、市民の皆さんの多様な生き方を応援したいという思いで記事を書いています。ただ、誰もが自分らしく生きるには、社会的な壁が残っていると感じています。家事労働時間は依然として女性の方が長く、日本はまだまだ「女は家事、男は仕事」という無意識の思い込みが根深い。そんな思い込みに、みんなで一つ一つ気付いていきたいですね。

私の目標は、今まで見逃されてきたモヤモヤと一緒に考えられる仲間を増やしていくこと。だから 3 コマ漫画の「モヤモヤ委員会」には、「つうしたらいい」という結論を載せていません。今年開催する「大人の性教育グループトーク」も、みんなで考える催しです。話し合いながら一人一人の認識をアップデートしていけば、誰もが自分らしく生きられる社会に近づいていくはずですよ。

編集後記

箕曲小の田植え体験を撮影。実は私も体験したことのない田植え。子どもたちがとても楽しそうで、私もやってみたくまりました（はる）
今月号から編集に携わりましたはなと申します。新社会人、「自分らしさ」を大切にしながら仕事に取り組んでいきたいです（はな）

地域や学校の草刈りは、いつも人生の大先輩に助けていただいています。感謝の気持ちとともに、将来の担い手不足への不安もじわり…（たか）
うちわまきの取材。宝扇を手、にこやかに帰っていく参加者に私も嬉しくなり、ご利益をおすそわけしてもうらなうでした（くま）

中学校給食の事業着手を当面延伸

市立病院への追加の財政支援など優先すべき財政対応が生じたため、中学校給食の事業着手を当面延伸することとしました。詳しくは市 HP や、広報なばり 7 月号でお伝えします。

市長コメント（市 HP）▶

